

～ 店舗価値向上への新たな施策「新価値宣言 第2弾」～
「ファストカジュアル」のモスバーガー本格展開
平成 16 年度で 350 店舗を「緑モス」に転換

株式会社モスフードサービス（代表取締役社長 CEO：櫻田 厚、本社：東京都新宿区）では平成 16 年度より、現在の「モスバーガー（以後略称：「赤モス」）」をファストカジュアル業態の「モスバーガー（以後略称：「緑モス」）」へ転換を進めます。将来的には、全店舗をファストカジュアル業態の「緑モス」に切り換えますが、初年度は 350 店舗、3 年を目処に 1000 店舗以上の転換を目指します。

「緑モス」は、ファストカジュアル業態の店舗の看板を緑色にすることからの呼称ですが、これは当チェーンが志向する「安心、安全、環境」を象徴する色として採用したものです。また、看板にはロゴの下に「Japanese Fine Burger & Coffee」と表記し、モスが“日本で生まれ、日本の味を大切に”ハンバーガー専門店であり、かつ喫茶需要を積極的に取り込む業態であることを主張します。

商品は当面「赤モス」と「緑モス」は共通のものを提供しますが、今後、「緑モス」専用商品を開発していきます。また、特に店舗のハードと人的サービスにおいては、チェーン内基準を設定した上で、この基準を満たした店舗から順次「緑モス」へ転換していきます。

当チェーンでは、1997 年に「新価値宣言」の第 1 弾として、協力農家による「低農薬・減化学肥料」野菜と、オーストラリア南部のタスマニア州を中心とした地域とニュージーランド南島の放牧で育てた牛肉のみを使用するなど、商品の基本価値向上を図りました。その新価値宣言第 1 弾から 7 年余りを経て現在、当チェーンの商品は「安心・安全」という点で、多くのお客様から信頼を得るに至っています。

今回は、「新価値宣言 第 2 弾」として、今までの商品価値向上に加えて、ハード（店舗）及びヒューマン（サービス）での基本価値を大きく向上させることにより、当チェーンが目指すファストカジュアル業態へ進化して参ります。

当チェーンが志向するファストカジュアル業態とは、レストランなみの高品質な商品をゆったりと落ち着いた快適な空間で、ていねいなサービスで提供する仕組みであり、ファストフードのように手軽にご利用いただけ、かつテイクアウトもできる、レストランとファストフードの双方の利点を活かした新業態です。現在、アメリカで急成長を続けている業態で、日本においても注目されつつあります。

当チェーンでは、創業以来一貫して、アフターオーダーで手作り、出来立ての商品を提供することにこだわり続けてきましたが、改めて「緑モス」の商品、店舗、人的サービスの在り方についてチェーン内基準を見直し、新しい基準を充たしたお店の看板を緑色に変更することで、お客様には従来型のモスバーガーとは違う、ファストカジュアル業態に進化した新しいモスバーガーを区別していただけるようにします。

過去 3 年間、当チェーンでは新規出店を控え、老朽店舗の改装および配置転換（スクラップ&ビルド）を積極的に進めてきました。この結果として、店舗数は若干減りましたが、逆に優良店舗が増えています。既存店ベースでの売上では、2004 年 1 月度で前年比 111%を達成するなど、大きな効果が現れつつあります。また、昨年 8 月に発売した「ニッポンのバーガー 匠味(たくみ)」の成功により、付加価値の高い商品・サービスに対する顧客ニーズの高さを改めて認識しました。

こうした状況を踏まえ、今回、新たな価値向上施策「新価値宣言 第 2 弾」を開始するには最適のタイミングと判断し、ファストカジュアル業態への転換を、一気呵成に進めることと致しました。

今回の業態転換では、「緑モス」への転換資金として全体で 20 億円の融資枠を設定し、低利子による本部から FC 店舗への改装融資を積極的に行います。

< 「緑モス」店舗への主な転換基準 >

店舗（ハード）

- 「禁煙」もしくは「完全分煙」設備が整っていること
- 25坪以上、または40席以上であること（原則）
- 男女トイレが分かれていること（原則）
- ナチュラル&ウッディタイプ（当チェーンの店舗改装方針）の店舗であること

商品（ソフト）

- 匠味・匠味レタスを販売していること
- 今後開発予定の緑モス専用商品を販売すること

人的サービス（ヒューマン）

- マスターライセンス（新たな本部公認店長資格）を取得すること
- ホスピタリティーマネージャー（フロアサービス責任者）を配置すること
- 製造責任者を配置すること
- 教育されたキャッシャーを配置すること

店舗運営

- テイクアウトオーダーに積極的に対応すること
- 店舗営業及び衛生状態が優良であること
- ISO14001 内部監査に適合していること
- ミステリーショッパーズの評価が優良であること
ミステリーショッパーズは全店舗を年に4回、覆面調査している本部調査のこと

< 「緑モス」店舗転換スケジュール >

1号店 平成16年 2月16日 新橋二丁目店（実験開業）

当面の転換 国立店、新大飯店、川越山田店、札幌二番街店など

転換目標	平成16年度までに	350店舗
店舗数	平成18年度までに	1000店舗
	新規出店含む	

< この件に関する問い合わせ先 >

株式会社モスフードサービス 広報室 TEL. 03-3266-7171 FAX. 03-3266-7110
〒162-8501 東京都新宿区筆筈町22番地
E-mail. pr@mos.co.jp